

日 時	令和7年11月28日（金） 13:00～13:30 第3回経営会議
出席者	市長、平原副市長、伊地知副市長、佐藤副市長、鈴木副市長、政策経営局長、総務局長、財政局長
欠席者	なし
議 題	1 横浜市中期計画 2026-2029（素案）について【政策経営局】
議 事 事 題	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2040年頃の横浜のありたい姿として、都市像「明日をひらく都市」を継承し、現状の課題解決に取り組みながら、「市民生活の安心・安全」と「横浜の持続的な成長・発展」を目指す、横浜市の新たな中期計画 2026-2029（素案）を策定し、12月3日に公表する。 <p>【説明要旨】</p> <p>1 計画期間 2026(令和8)年度から 2029(令和11)年度までの4年間</p> <p>2 計画の特徴 本計画は、現在と未来の両方の視点で都市の将来像と施策を捉え、「都市像」「戦略」「政策」「施策」の体系化や、計画で予算を固定せず、行政・財政を変革させながら最適な事業を追求するとした現計画の考え方を継承。 加えて、より戦略的・体系的な計画へと高め、市民の皆様の実感を評価の軸に置いて、目標に向けて柔軟に必要な取組や手段を選択し、実践していくスキームとし、市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握しながら、その向上等を目指して、4年間で重点的に進める戦略や取組を中心に記載。</p> <p>3 計画の主な構成</p> <ol style="list-style-type: none"> 「横浜市中期計画 2026-2029」の策定（計画の考え方等） 基本姿勢（データ経営の徹底、SDGs実現の視点） 計画の全体像（戦略、計画体系、データ駆動型経営への本格移行） 政策・施策（14の政策群と33の施策群、「明日をひらく都市プロジェクト」） 行財政運営（行政運営、財政運営、歳出改革の取組） <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本計画では、市民の実感を最上位目標とした評価軸によるPDCAサイクルに取り組み、データ駆動型の経営を強化していく必要がある。 <p>【結論】</p> <p><u>局案について了承。</u></p>